



宮崎南週報



出逢う人と 奉仕を共に

宮崎南ロータリークラブ

会長 野田 一孝

第1891回例会 2016.10.3

会長／野田 一孝 幹事／井上 竜志
 副会長／日高 章智 会報／戸高 勝利
 例会場／宮崎観光ホテル
 ソング／君が代 四つのテスト
 ロータリーの目的

会長挨拶

野田一孝会長



10月1日、2日の二日間、鹿児島県指宿市での地区大会の御参加有難うございました。事故もなく無事終われたことも、皆様の御協力があったからこそです。有難うございました。

まだ台風16号の爪痕の残るなかでの大会でした。予定をしていた会場も台風被害で使用できず、またリハーサルもできない中での開催で指宿ロータリークラブの皆様の御苦労は、大変なものだったことでしょう。大会は約1,200名の参加者で、協議会、本会議、懇親会と、どの行事も成功に終わりました。特に懇親会は、素晴らしい花火の打ち上げで、参加者の方を満足させました。次年度は、宮崎大会ですので、協力できることは皆さんと共に協力していきたいと思っております。

大きな行事も無事終わり、ここからは南ロータリークラブの本来の事業に集中できるようになりました。今月は、職場訪問となっております。会委員の皆様の多くの御参加をお願い致します。

また大きな台風が接近しております。十分な対策をお取りください。暦の上では、晩秋、寒露ですが、まだまだ暑さが残っておりますので、体調には十分気を付けて職業奉仕に頑張りましょう。

出席委員会報告

松田安典委員長

●出席状況

| 本日状況 | |
|--------|----------|
| 会員数 | (39) 41名 |
| 本日欠席者数 | 12名 |
| 本日出席者数 | 29名 |
| 出席率 | 74.30% |

| 前々回状況 | |
|------------|----------|
| 会員数 | (40) 42名 |
| ホームクラブ出席者数 | 29名 |
| メークアップ数 | 2名 |
| 修正出席者数 | 31名 |
| 修正出席率 | 77.50% |

●前々回メークアップされた方／田中 寛会員、橋口正樹会員

ニコニコ BOX 1件 10,000円
累計 45,000円

募金箱 5,400円
累計 48,907円

報告

幹事報告

井上竜志幹事



- 女性大会が開催されます。日時は11月20日（日）12:00から場所は、鹿児島市 鹿児島東急ホテルです。
- 2017-18年 派遣学生応募者説明会と選考会が行われます。説明会は10月23日13:00からとなっております。
- 国際ロータリー第2730地区 2019-20年ガバナーが決定しております。 宮崎西RC 喜島健一郎会員です。
- 10月のロータリーレートは102円です。
- 本日は理事会となっておりますので、出席をお願いいたします。欠席の場合は副委員長代理をお願いいたします。

ニコニコBOX

田中 寛会員



地区大会に参加させて頂きました。米山奨学会についても寄付の状況等が分かり大変勉強になりました。ありがとうございました。



ロータリー情報

米山記念奨学会 (Rotary Yoneyama Memorial Foundation Inc.)

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会のことで、奨学または研究のために来日し、わが国の正規の学校または研究機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、彼らの留学の目的を支援するとともに、ロータリーの理想とする、国際理解と親善に寄与することを目的とする。

インターラクト委員会

安川 潔会員



昨年、50回インターラクト年次大会を開催し今年度51年目になります。50周年を記念し地区インターラクト委員会川畠委員長より鵬翔高校インターラクトクラブさんへ記念品を頂きました。後日改めまして鵬翔高校嶋田先生をお呼びし野田会長より記念品をお渡しして頂きたいと思います。

会報委員会

戸高勝利会員



【お詫びと訂正】

2016年9月5日に行われました例会は第1888回でした。

週報の記載に間違いがございました。

(誤) 第1887回例会2016.8.29

(正) 第1888回例会2016.9.5

お詫び申し上げ訂正いたします。誠に申し訳ございませんでした。

ロータリーフラッシュ

●誕生月

松田安典会員
井上竜志会員



●結婚月

菊池武英会員
丸山一郎会員
甲斐宗雄会員
鬼束孝仁会員
松田安典会員
山崎栄一郎会員



●地区大会表彰

ハイエイジ会員(80歳以上)

橋口正樹会員、日高章智会員、大迫三郎会員

永年皆勤表彰(40年以上50年未満)

橋口正樹会員、大迫三郎会員

永年皆勤表彰(25年以上40年未満)

日高章智会員



その他

地区大会報告

井上竜志会員



地区大会参加者のみなさん大変お疲れ様でした。

その前に、観月会でのご出席の皆様お疲れ様でした。大迫雅浩会員には、親睦委員として、パークゴルフ、観月会懇親会を仕切っていました。また、副SAAとして司会までして頂き深く感謝いたします。幹事として申し訳なく思っております。ありがとうございました。

次に、地区大会についての報告ですが、宮崎県中部分区内での9クラブ中では最多参加数で、24名の多くのご登録を頂きました。宮崎RC、宮崎北RC、と同じ登録者数でした。

1日目は、朝早くからバスでの移動、到着して昼食といったあわただしい中のご参加に感謝申し上げます。報告の前に、安川会員、開地会員、大迫雅浩会員先輩方々には、往復のバスの段取り等して頂き、大変お世話になりました。私は、幹事らしいことは一切行っておりませんので、大変ご迷惑をお掛け致しました。また、バスに同乗された皆様にもご迷惑をお掛けしましたことを、深くお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。

地区大会での内容は、新米幹事が報告するまでもございません。詳しい内容は、後日大会報告がされると思います。その資料を参照して頂きたいと思います。

続きまして、懇親会です。ここでも、日高副会長に深くお詫び申し上げます。懇親会ですが、ガバナー挨拶、RI会長代理等の挨拶、鏡割りの後、乾杯でした。ここで、我が南RCの大迫パストガバナーの登場でした。ここでも乾杯のご挨拶をされました。観月会での乾杯と同様に、立派な挨拶をして頂きました。

地区的代表であり、わがクラブの代表の大迫パストガバナーだと思うと、私は大変誇りに思っております。先ほど、地区大会の参加登録者24名と申しましたが、この懇親会参加者、宮崎南19名の参加登録です。宮崎中分区トップです。フィナーレのサプライズ花火はとても感動しました。

2日目です。

メインは、有森裕子さんの講演です。

帰りのバスでは、みなさんお疲れか、ぐっすりお休みでした。バス内で、地区大会はね、参加することに、また、みなさんと会することに意義があるんですよ。田中会員がおっしゃいました。そのとおりです。参加することで、ロータリーがわかることがあります。まだ、入会して2年そこそこの若輩幹事が言う言葉ではございませんが、知らないことばかりですので申し

訳ございません。しかし、田中先生だけは、今日の卓話の準備が忙しく、書類を見直し書き込み、と大忙しでした。今日は、4つの申し訳ありませんを、宣言しました。

一つは 大迫雅浩会員 申し訳ありませんでした。
二つは バスの幹事代理 安川会員、開地会員、大迫
会員 申し訳ありませんでした。

三つめ 日高章智副会長 申し訳ありませんでした。
四つめ 田中先生 申し訳ありませんでした。

この地区大会が2日間、無事にけがもなく、乗り遅れることもなく取り残されることもなく、終了したことに感謝しまして、ご報告とさせていただきます。

本日のプログラム

会員卓話

米山奨学会委員会

田中 寛委員長



皆様こんにちは。昨日までの3日間にわたる指宿での地区大会に参加された皆様、大変お疲れさまでした。同地区大会でも米山奨学会に関する活動状況の発表がありましたが、本日は、10月が米山月間になっておりますので、米山奨学会に関する話しをさせていただきます。以下の内容は、皆様にも配布されております米山奨学会豆辞典に記載されておりますので、詳しくはそちらをご覧ください。

米山奨学会に関する「米山基金」は、日本のロータリーの創始者である故米山梅吉氏の偉業を記念し、後世に残る有益な事業として、以下のようなあゆみで設立され現在に至っています。日本から始まり、現在は、世界規模で実施されている誇れる制度であると思います。

1、まず、ロータリー米山記念奨学会の主なあゆみを時系列に説明します。

1952年 東京ロータリークラブが米山基金の構想を発表
1953年 「米山基金」の募金開始
1958年 新組織初の奨学生8人を採用
1959年 世話クラブ制度設置
1960年 「ロータリー米山記念奨学会」と改称
1967年 「財団法人ロータリー米山記念奨学会」設立
1971年 カウンセラー制度設置
1972年 米山功労者制度の設定
2008年 ホームカミング制度がスタート
2012年 「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」となり現在に至る

2、ロータリー米山記念奨学事業とは

(1) 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会(以下、米山奨学会)は、日本のロータリーが協同で運営する奨学財團です。米山奨学会では、日本で学ぶ外国留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。米山奨学会の目的は、世界平和と国

際親善の推進です。

(2) 事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。

(3) 米山奨学会は、外国人留学生を支援しています。

日本のロータリーの創始者、故・米山梅吉翁の偉業を記念し、後世に残るような有益な事業を立ち上げるため、1952年、東京ロータリークラブが、海外から優秀な学生を日本に招き、奨学を支援する奨学事業、「米山基金」の構想を発表しました。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという、当時のロータリアンたちの強い願いが込められていました。

(4) 米山奨学会の制度として、世話クラブ・カウンセラー制度があります。その内容は、奨学生一人ひとりに地域のロータリークラブが「世話クラブ」となり、ロータリーとの交流の起点となります。さらに、世話クラブ会員の中から「カウンセラー」が選ばれて、奨学生の日常の相談役となります。

米山奨学生はクラブの例会や地域の奉仕活動、日本の実業人・専門職業人であるロータリアンとの交流を通じて、より深く日本を知り、ロータリーが求める平和の心を学びます。

3、米山奨学会への寄付及び、米山奨学生の卒業後の「世話クラブ」とのつながりについて

(1) 米山奨学会への寄付額は、各クラブによってかなりの金額の違いがあります。上記地区大会では、延岡東ロータリークラブが、高額寄付クラブ第1位として表彰を受けていました。敬意を表すると共に、なぜそのような寄付が集まるのか学ぶべき点があると思います。当クラブの寄付額は、そう高額はありませんが、特に低くはない額だと思います。それぞれのクラブの実情をふまえて、無理をしないように寄付額の増額を目指すのが良いのではないかと思います。

(2) 次に、米山奨学生が、大学等を卒業した後に、「世話クラブ」へ、手紙等の連絡が全く来ず、消息が分からぬとの問題があるようです。問題になったケースについては、調査した結果、中国の地方にある大学の教授になって活躍されていることが分かり、連絡しなかったことについて謝罪の手紙も来たとのことです。上記の問題の解決については、米山奨学生として学んでいる間に、日ごろから、時々は「世話クラブ」へ消息を知らせる手紙等を出してくれるような雰囲気づくりや働きかけをすることも一つの解決方法ではないかと思います。

4、今後とも、米山奨学会へのご理解と、寄付を含めた活動に対するご協力をお願い致します。

国際RI 第2730地区
2016-2017年度

地区大会(鹿児島県指宿市)

